

ブリの年齢，モジャコの日齢

資源管理部 主任研究員 宍道弘敏

目的 ブリとモジャコの年齢(日齢)と成長を把握し，関係漁業の振興，ブリ資源の評価・適正管理・持続的利用の推進に資する

ブリ

鹿児島県海域に定着したブリの成長は未だ解明されていません。水産技術開発センターでは，標識放流調査により成長を把握するほか，年齢形質である脊椎骨を用いた年齢査定を行っています。寿命は6歳といわれており，今後，高齢魚のサンプル確保が課題です。

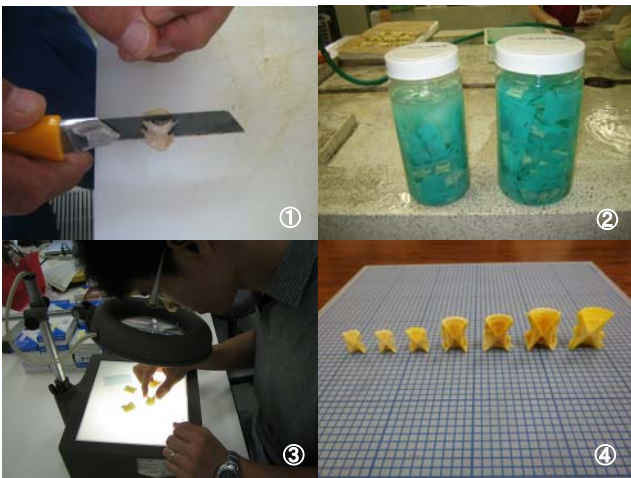


図1 年齢査定の手順 (①筋で・切断，②薬品処理，③乾燥・観察，④年齢査定後の脊椎骨)

$$FL(\text{cm})=92.9\{1-\exp[0.627(t-0.028)-(0.322/2\pi \cdot \sin(2\pi(t-2.494))]\}$$

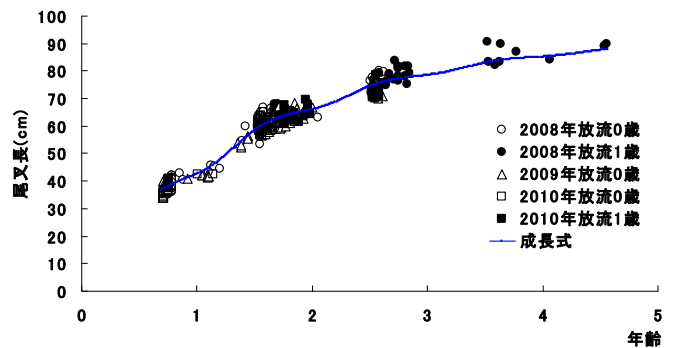


図2 標識放流再捕結果から推定した鹿児島湾産ブリの成長

モジャコ

春季，流れ藻とともに薩南海域に來遊するモジャコは，ブリ養殖用種苗として採捕され，産業的に重要です。しかし，孵化後の日数や産卵場，流れ藻との遭遇海域及び來遊経路等について未解明な点が多いです。水産技術開発センターでは，東京大学大気海洋研究所と共同で，耳石を用いたモジャコの日齢解析や流れ藻來遊機構の研究を行っています。

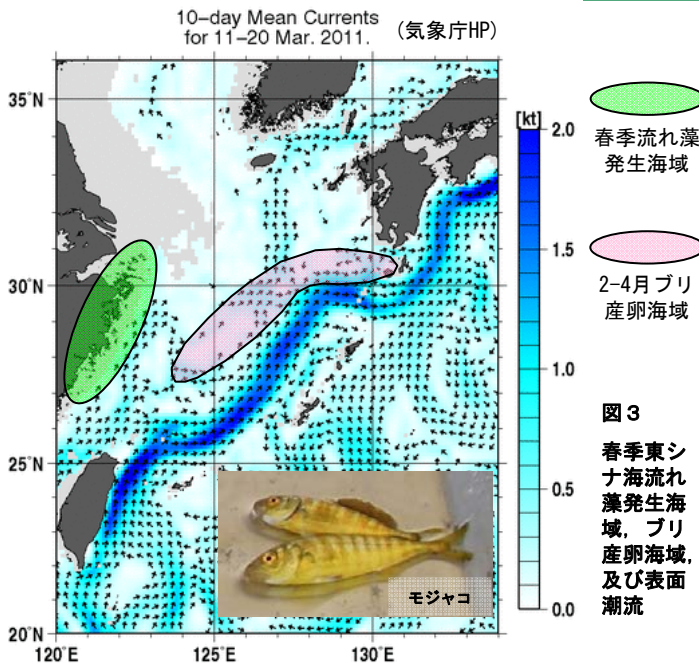


図3 春季東シナ海流れ藻発生海域，ブリ産卵海域，及び表面潮流

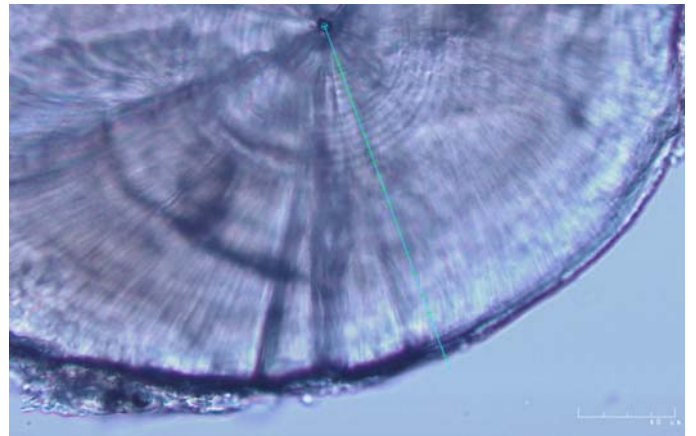


図4 耳石日齢解析装置によるモジャコの日齢査定状況